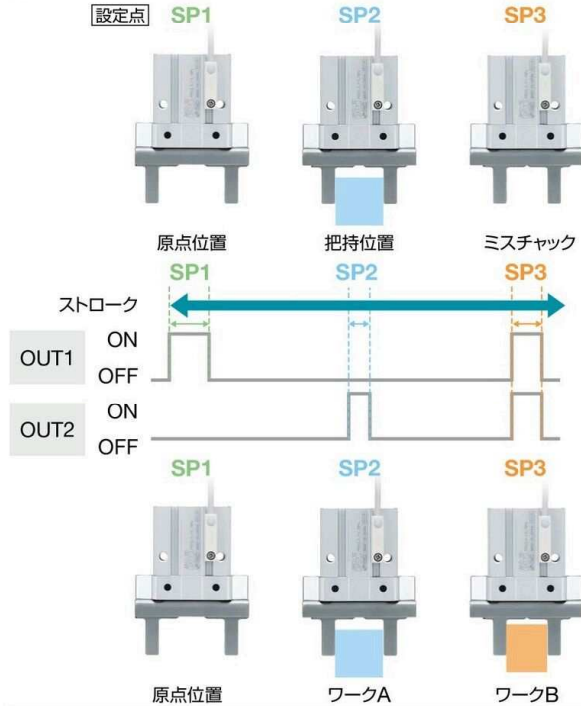


設定点数により異なる使用方法が可能。生産性向上

3点設定、2点設定により異なる使用方法が可能

3点設定の使用例

- 原点位置／把持位置＋ミスチャック(閉位置)確認

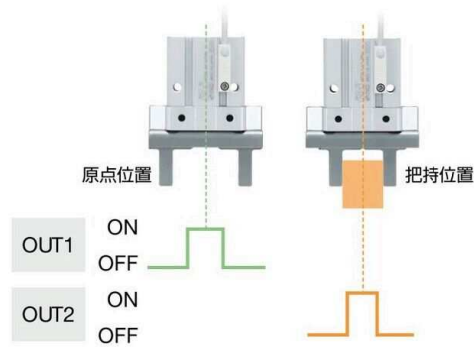


設定点	3設定モード	
	出力端子	
	OUT1	OUT2
SP1	ON	OFF
SP2	OFF	ON
SP3	ON	ON

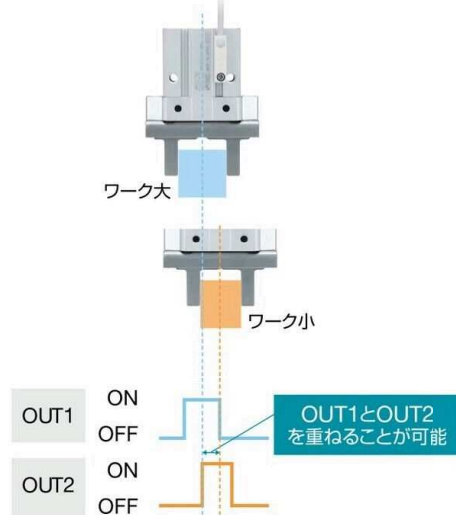
※SP3はOUT1+OUT2の同時出力固定となります。
 ※3点設定では出力範囲が重なる設定はできません。
 ※3点設定と2点設定は別品番です。
 設定点数の切り替えはできません。

2点設定の使用例

- 原点位置／把持位置



- ワークの簡易判別



位置ズレによる再設定が容易。生産性向上

スイッチ出力の出力範囲、応差を設定可能

ON幅、応差の値はセットアップツールの操作で変更可能です。
 (SP1~3それぞれで設定可能)
 ON幅でスイッチ出力のON範囲を変更できます。応差を設定することで、スイッチ出力のチャタリングが防止できます。

設定点と出力端子の関係
 (3点設定の場合)

設定点	出力端子	
	OUT1	OUT2
SP1	ON	OFF
SP2	OFF	ON
SP3	ON	ON

